

Leader



2023年3月期 第1四半期 決算補足説明資料 リーダー電子（6867）

2022年8月5日

<https://www.leader.co.jp/>

2023年3月期 第1四半期 決算



<https://www.leader.co.jp/>

業績：期初計画に沿って順調。受注残高は前年同期比約2倍。

上期は受注の積み上げに注力、下期に挽回。

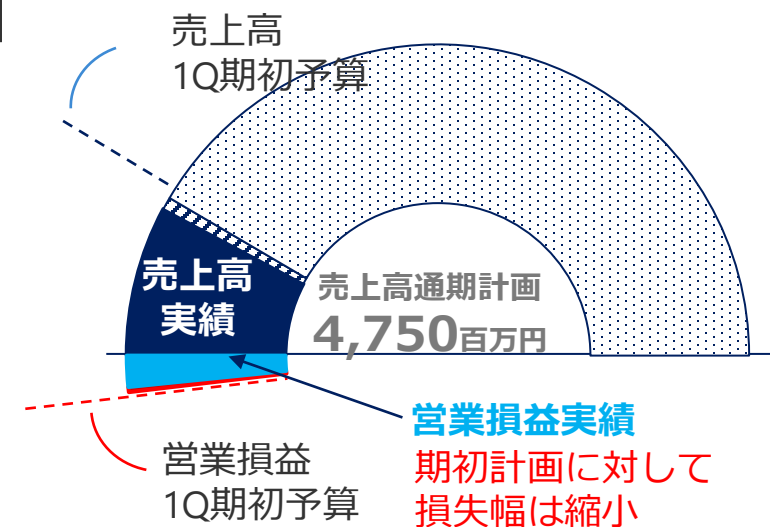
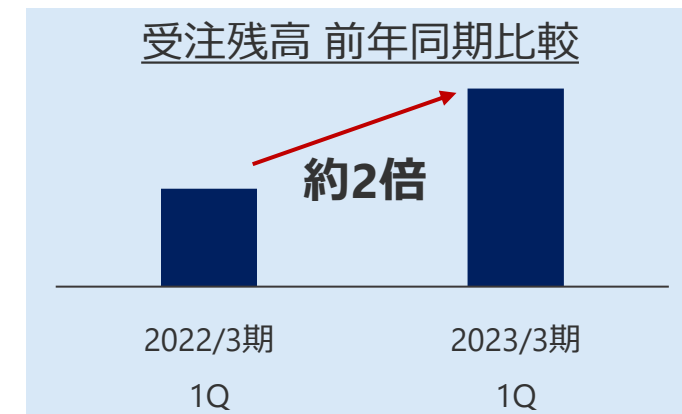
■ 売上高：742百万円（前期比△7.7%），経常利益△85百万円

中国	ゼロコロナ政策の継続により停滞。（想定範囲内）
北米	IP対応機種を中心に堅調。
欧州	中国、日本の不振を北米・欧州でカバー。
日本	前期から引き続き設備投資意欲低調。

■ 財務：自己資本比率 82.4%と盤石の財務基盤維持（前期末比+1.4pt）

■ 今期業績見通しについて

- 上期で受注を積み上げ下期に回収するシナリオは想定通り。
- 1Qの減少要因である「サプライチェーンの混乱による製品供給量の抑制」と「中国の停滞」は2Q以降も続くことを想定。
- 堅調な欧米を軸に通期計画に向けて積極的に営業を展開。
 - 新商品、新サービスの早期上市に向け開発に注力。



2023年3月期 第1四半期 決算概要

欧米でIP化への投資が活発化。

QXLを中心としたPHABRIX社製品が好調で売上総利益率は良化（前年同期比+5.2pt）。

(単位：百万円)

	2022年3月期 1Q 実績	構成 %	2023年3月期 1Q 実績	構成 %	前年同期比 %
売上高	804	100%	742	100%	△7.7%
売上総利益	507	63.1%	507	68.3%	△0.0%
販売費及び一般管理費	569	70.8%	660	89.0%	+16.0%
営業利益	△62	-	△153	-	-
経常利益	△49	-	△85	-	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△62	-	△98	-	-

戦略的に研究開発費を増加 研究開発費：257百万円（前年同期比+51百万円）

QxLを中心にPHABRIX社製品好調

25G-IP 対応ラスタライザーQxL

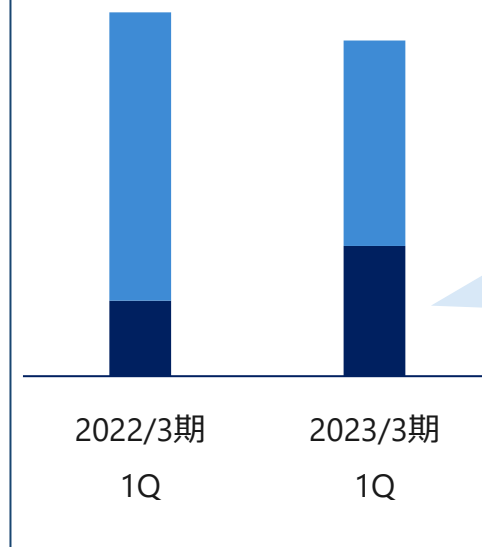


- 製品名：ラスタライザー
- 型番：QxL
- 発売開始：2020年9月
- 開発元：PHABRIX社

多様化が進む放送環境において幅広く活用可能

- 4K映像の伝送が可能な25G-IPに対応
- 放送・メディア制作や放送機器の設計開発で好評なラスタライザーQxの上位機種

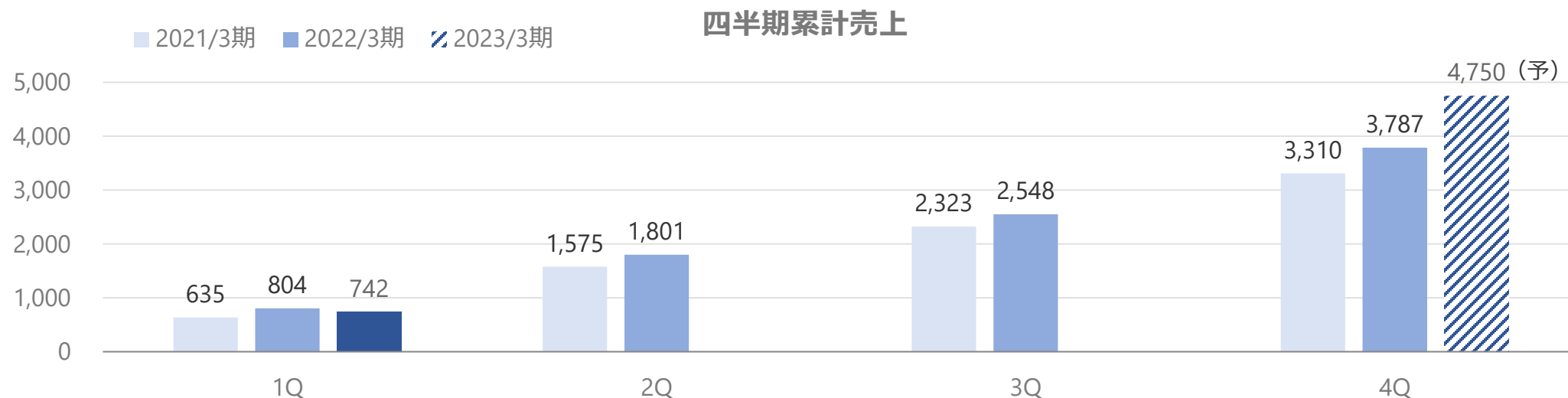
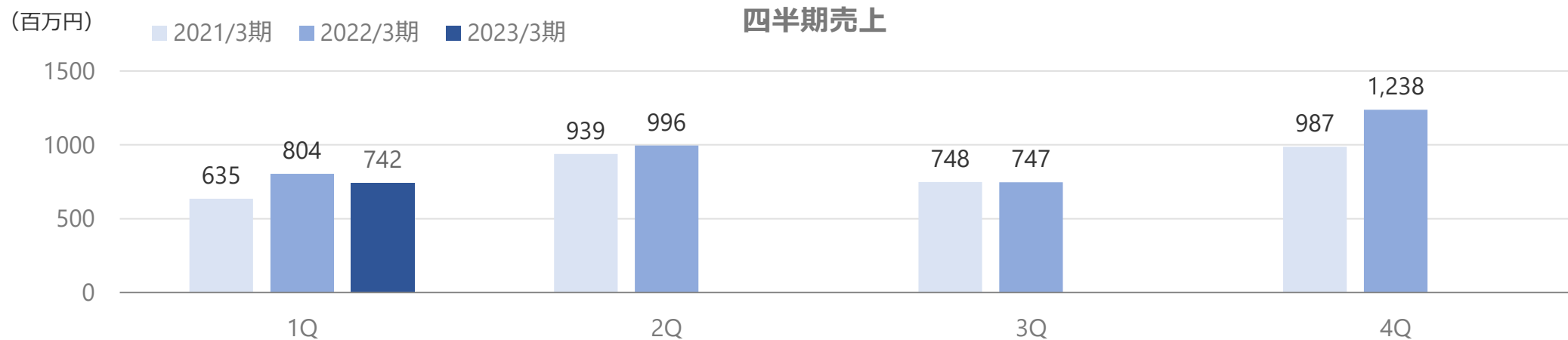
連結売上高に占める
PHABRIX社製品の割合



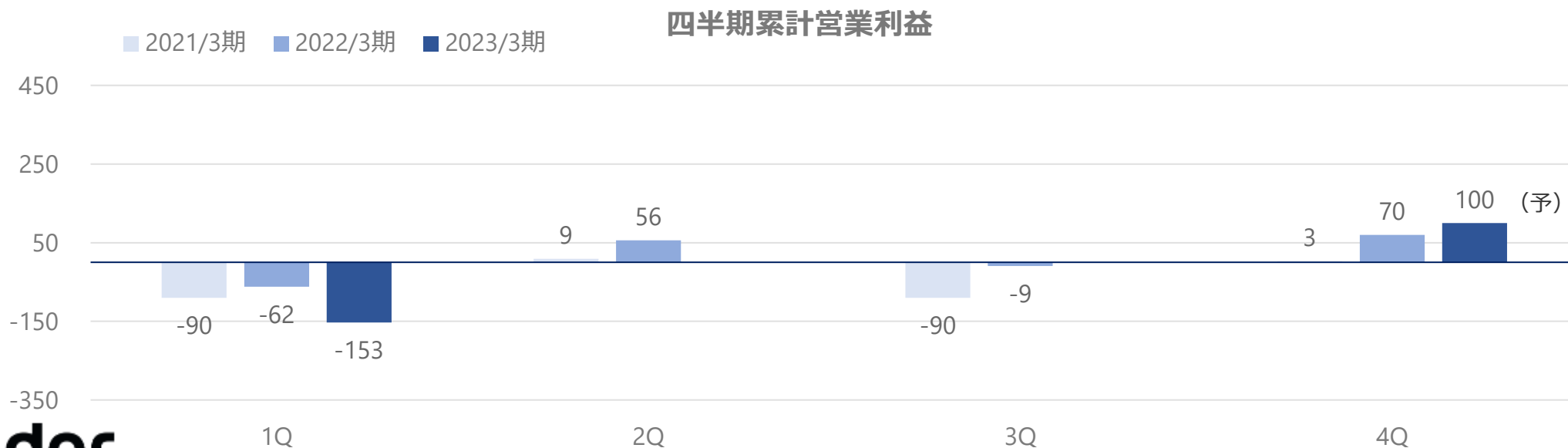
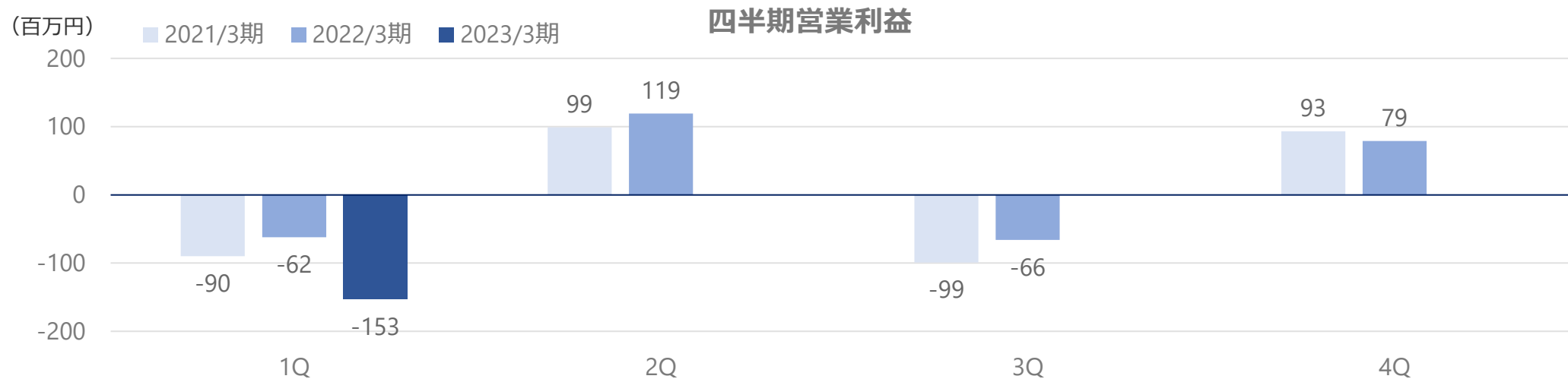
PHABRIX社製品の売上高が増加したことにより前年同期と比べ売上総利益率が良化

高画質化する放送メディアのIPネットワークに対応可能な製品

四半期業績推移（売上高）

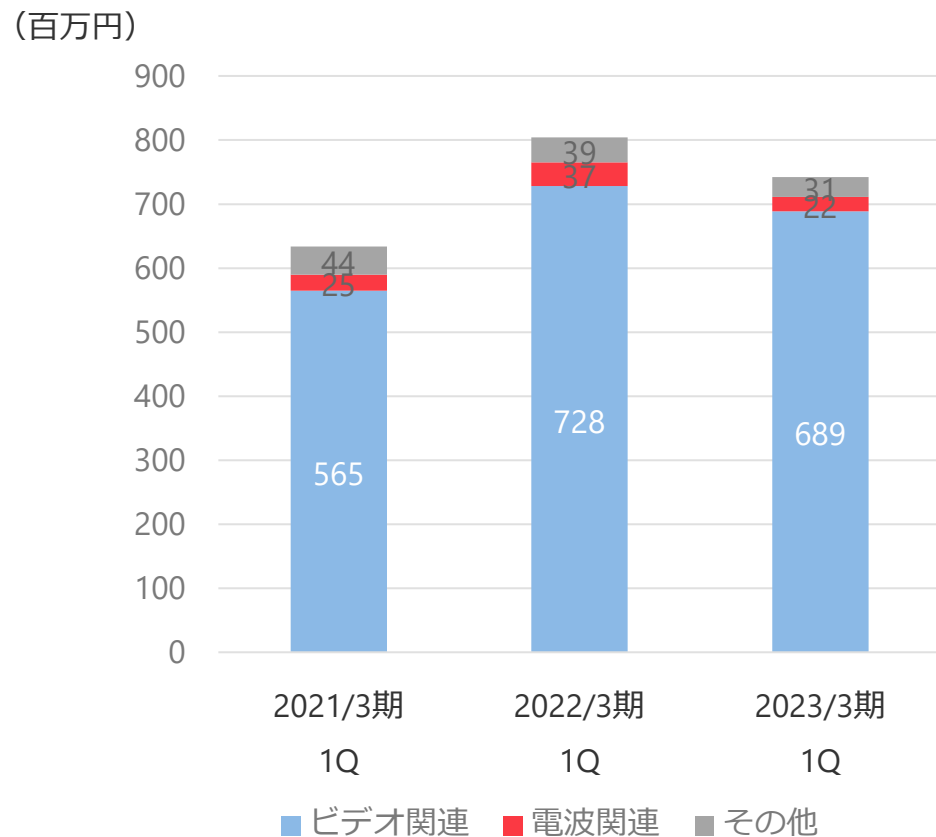


四半期業績推移（営業利益）

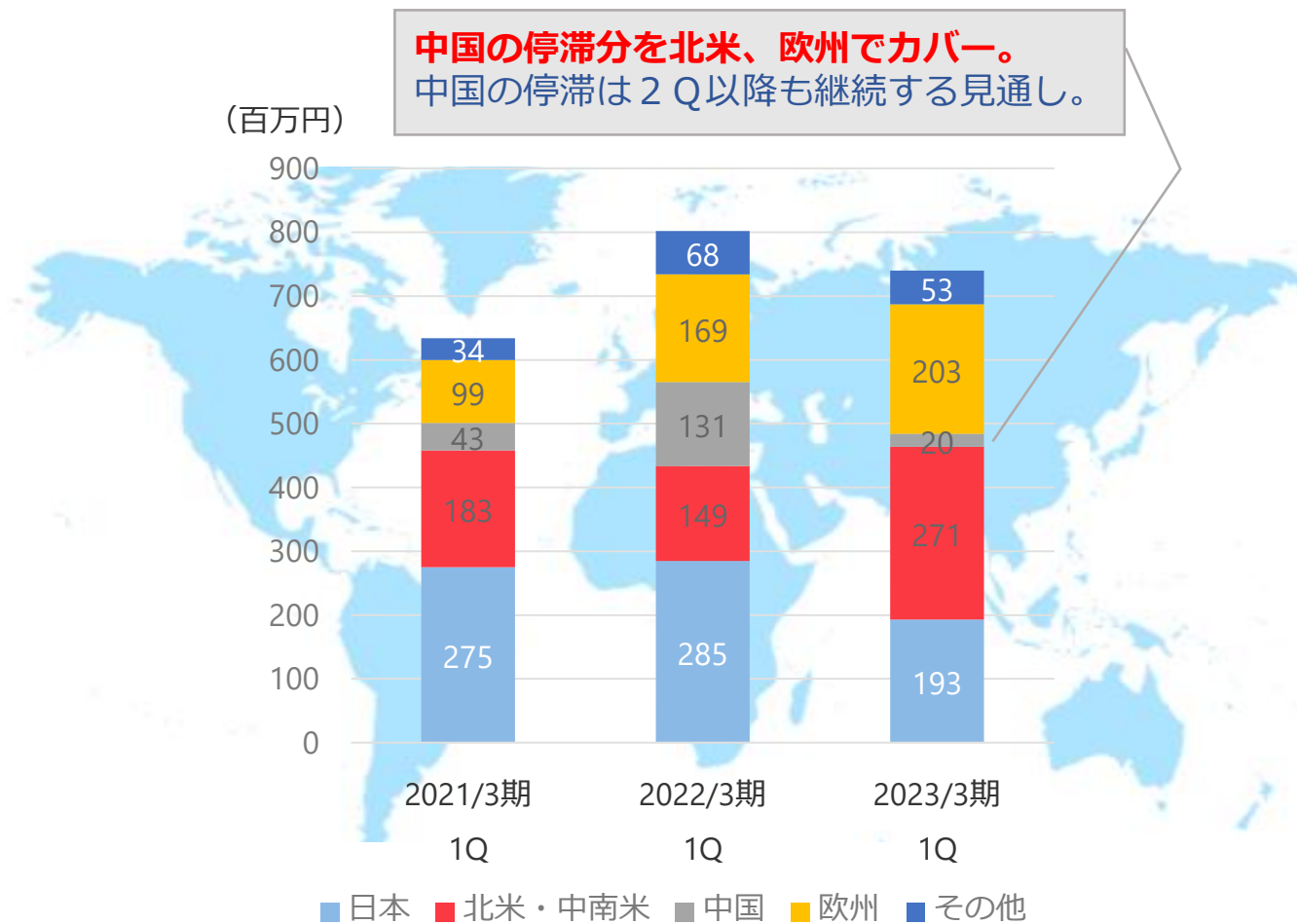


セグメント情報

■ 商品別売上高



■ 地域別売上高



貸借対照表、資金調達関連

単位:百万円	22年3月末	22年6月末
流動資産	4,260	4,095
現預金	3,005	2,559
受取手形及び売掛金	673	688
商品及び製品	291	359
その他	290	488
固定資産	1,467	1,445
有形固定資産	636	628
無形固定資産	395	371
投資その他の資産	435	444
総資産	5,728	5,540
流動負債	561	472
買掛金	205	127
その他	356	344
固定負債	459	482
退職金に係る負債	305	311
その他	136	170
純資産	4,707	4,585
株主資本合計	4,821	4,628
その他包括利益累計等	▲114	▲42
負債純資産合計	5,728	5,540

主な増減要因

- 現金及び預金：△445百万円
- 買掛金：△77百万円

自己資本比率82.4%（前期末比+1.4pt）

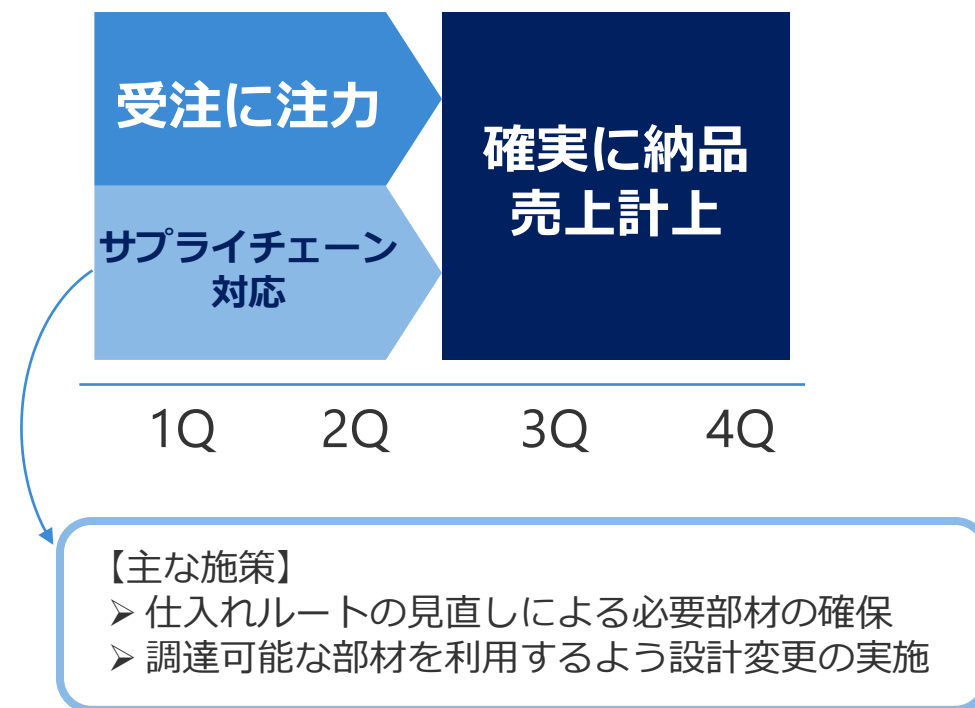
2023年3月期 通期計画



<https://www.leader.co.jp/>

IP対応機器を軸に更なる受注拡大に向け北米・欧州において積極的に営業を展開

- ◆ 2Qまでは受注の獲得とサプライチェーンの整備にリソースを集中。
- ◆ 中国は2Q以降も停滞が続くことを想定し、北米、欧州を中心に営業を展開。
- ◆ 放送関連事業の新技术導入の加速を見据え積極的に研究開発投資を実施。（VMA事業）
- ◆ 車載カメラ向けソフトウェアの早期収益化に向け顧客の協力を得ながら開発を加速。（イメージセンシング事業）



- 動画の大量生産時代に対応するべく積極的な開発投資を継続
- 原材料のひっ迫は2022年度一杯続く前提で、サプライチェーンを強化

(単位：百万円)	2022年3月期 実績	構成 %	2023年3月期 計画	構成 %	前年同期比 %
売上高	3,787	100%	4,750	100%	+25.4%
営業利益	70	1.9%	100	2.1%	+42.7%
経常利益	154	4.1%	110	2.3%	△28.9%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	116	3.1%	80	1.7%	△31.2%

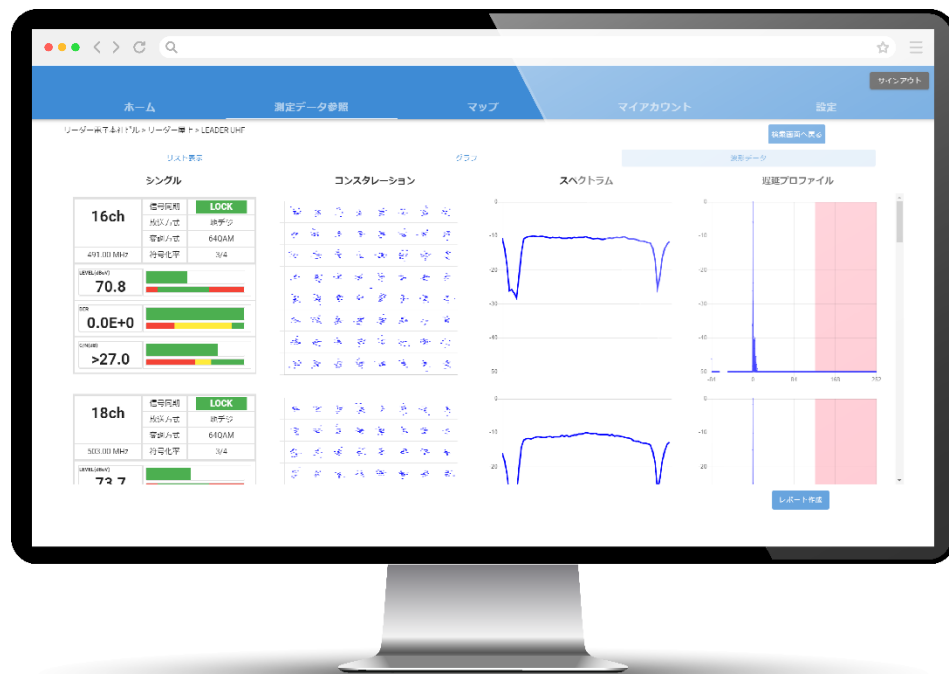
LePorter (リポーター)

➤ 無料トライアル実施中 ⇒ 開発継続中

Cloud Data Service
LePorter

報告書自動作成サービス

電界強度計LF965の測定データから
測定報告書を自動作成するサービス



クラウドを利用した測定データの管理・編集

作業報告書の自動作成

測定時の天候や気温・湿度も自動挿入機能付き

受信レベル、信号品質の分布状況等を地図上にプロット可能

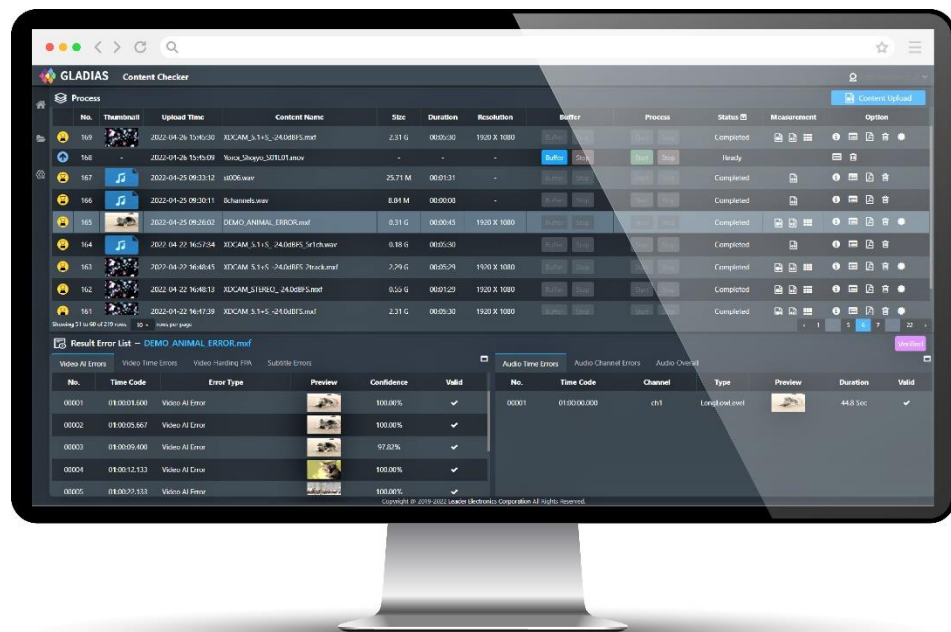
GLADIAS

▶ 顧客の協力を得ながら機能強化のための開発継続中

Content Checker
GLADIAS

映像・音声の放送品質自動検査サービス

通常、人が目で見て判断する映像・音声のクオリティを、AIが代わって検査するクラウドサービスです。AI (ディープラーニング) を使って、コンテンツの異常と思われる部分を見つけ出します。



複雑なパラメータ設定は必要ありません

複雑なパラメータ設定がないので、映像や音声の専門的な知識がない方でも使用できます。

クラウドサービス

導入コストを抑えられ、簡単に開始できます。

異常と思われる部分を簡単にチェック

異常と思われる部分の前後3秒で切り取った映像・音声を、レビュー再生で簡単に確認できます。複数のコンテンツを同時にチェックできるので、作業時間の軽減にもなります。

車載カメラ向け解像度測定ソフトウェア 発売開始

➤顧客の要望を吸い上げ機能強化のための開発を実施中

MTF Measurement Software

SFR-Fit

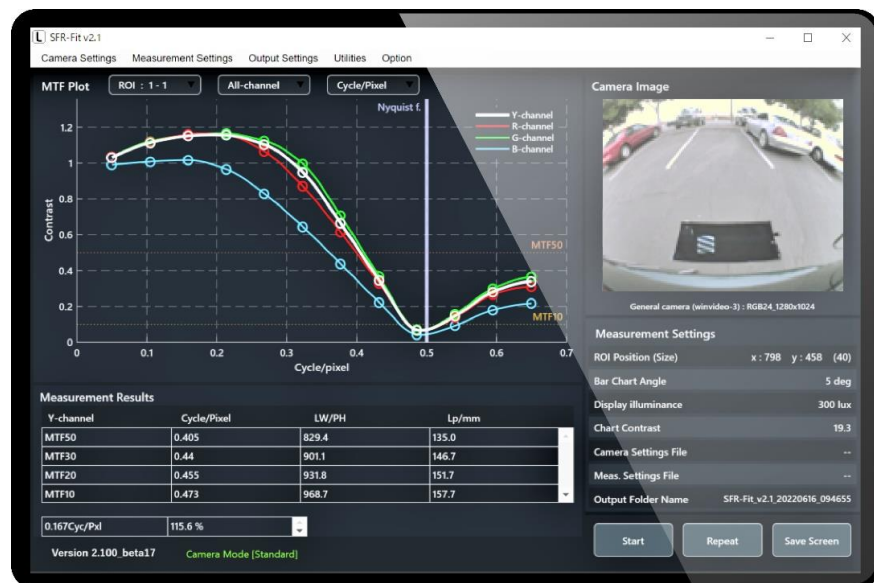
車載カメラ向け 解像度測定ソフトウェア

魚眼レンズを備えた車載カメラの
解像度測定に最適

測定が困難であった魚眼レンズを備えた車載カメラ
の解像度を安定かつ、高精度に測定

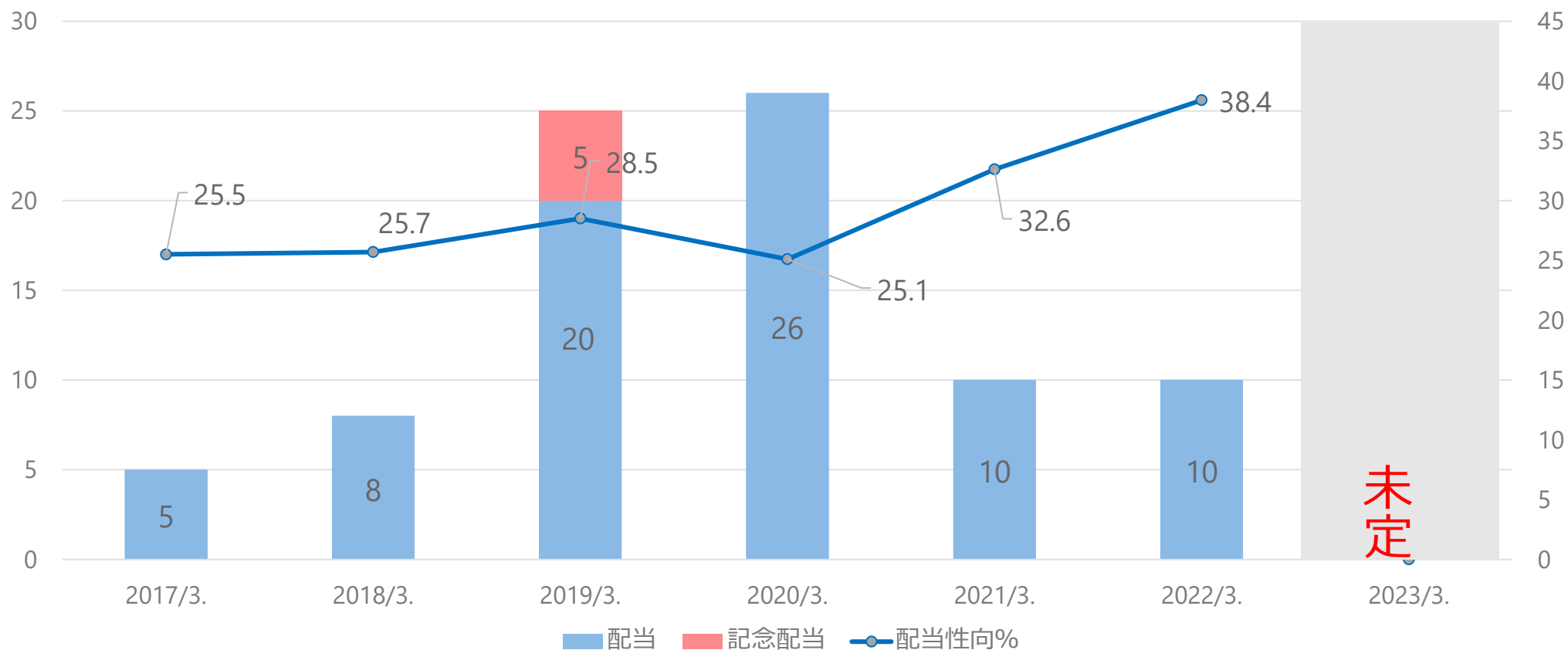
画像の歪みやノイズ、画像処理に強い

ペーパーやフィルムなどのテストチャートが不要



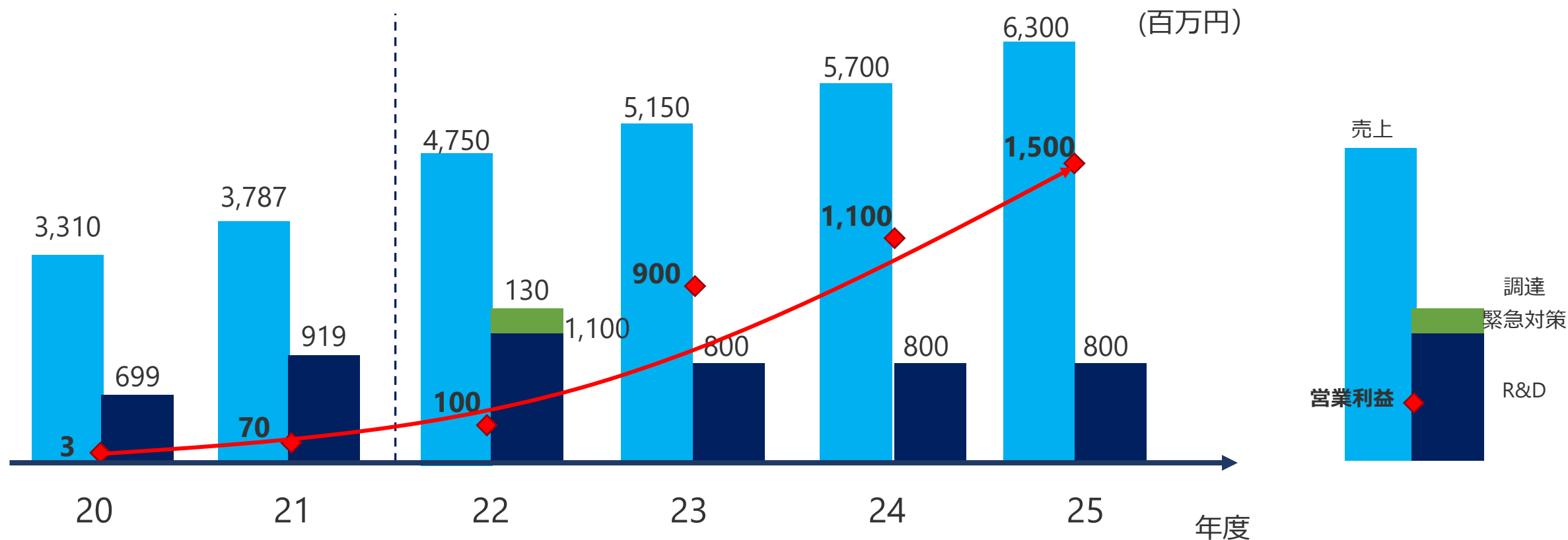
企業成長投資と株主還元のバランス重視

(配当：円)



業績目標

25年度にはグループ営業利益[※] 1,500百万円を目指す



※ 今後実施するM&Aに係るのれん等の償却費を除く